



発行  
真宗大谷派 飛騨御坊真宗教化センター  
発行者 三島 多聞  
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地  
☎(0577)32-0776  
\*毎月20日発行 50,000部  
三市一郡無料配布  
印刷 山都印刷株式会社

# 念じられ 照らされて

## 「日ごろのこころにては、 往生かなうべからず」

宮尾卓

コロナでおろおろしている間にもう年末です。私の都合などお構いなしに季節は移り変わります。日頃は「こういうもんなや、ああいうもんなや」と教えられ「これが正しい、あれはあかん」と取捨選択しながら生きていますが、全ては自分の都合という物差しによる世界観に他ならなかったのだと振り返っています。

私は真宗大谷派の長浜別院で列座としてお勤めさせていただいております。儀式と聴聞は一つのものだと考えています。聴聞とは阿弥陀さまのおすくい・いわれを聞くことです。儀式を通じて教えに触れ、法座で聴聞し、そのことを確かめ合うのです。

仏法聴聞するとは、そのまま阿弥陀さまの信心をいただくのです。信は「まこと」と読みます。信心とは信じ込むことではなく、「まこと」の「こころ」をいうのです。阿弥陀さまの「信心」をお聞かせいただく時、見えてくるのは「日頃のこころ」です。日頃のこころとは、自分の都合という物差しによる世界観で人生を生きる私のことです。

今年にはあらゆる法要が規模縮小にて執行されました。役員会でも「ごえんさん、今年だけは仕方ないで」と私をなだめるように話し合われました。最初は「大変やな。でも仕方がない」と思いましたが、聞いて救われた身になれると思っ



〈略歴〉  
一九七六年、滋賀県米原市生まれ。真宗大谷派長浜教区第十五組長源寺住職。長浜別院大通寺列座。

ているのです。聞いて理解して納得して確かな念仏者となつて、自分でしっかり歩んでいけると思っているのです。これは仏法を利用して自力で思い通りに生きようとする、阿弥陀さまに背く姿そのものです。阿弥陀さまの「信心」をそのままにいただくことなく、日頃のこころに取り込もうとするのです。

### コロナ感染に思うこと

一とても気になるGoToの行方 ところで、私の行方(生く方)はどこへ？

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の流行から一年が経とうとしています。終息の目処が立たないまま、現在は第三波到来が叫ばれています。未知のウイルスによる世界中の死者は、160万人を超えました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患された皆さま、ご親族の方には、衷心よりお見舞い申し上げます。また、医療の現場で患者さんの治療にご尽力されている医療従事者の皆さまにも、心より敬意を表します。

以前、ある報道番組で、メインキャスターの方が口にされた「このウイルスは、人と人を分断させようとしているのかな」という言葉が強く印象に残っています。ウイルス感染による「隔離」や「死別」という分断とあわせて、「批判」、「偏見」、「排除」などの「人間関係」の分断も深刻な状況にあります。

人間は、さまざまつながり(関係性)の中に生まれ、育てられ、生かされています。人と人の間に生きる存在です。時として、それが煩わしく感じることもあります。このつながりなしには自分自身であることができなことも事実です。私自身を成り立たせ、支え合っているつながりという「間」が、「批判」、「偏見」、「排除」などによって、喪失の危機を迎えているように感じます。

源信僧都という方は、「間」が「無」い世界を「無間地獄」と表現されました。地獄の中でも最下層にあり、最も苦しい地獄と言われます。死後の世界の話ではなく、私を成り立たせる「つながりの無い孤独な世界」が、私たちの手で作られようとしています。

現在、経済の回復など、たくさんの課題を抱えています。喪失しつつある人間性の回復を考えていかななくてはならないと感じています。今年に入り、ウイルスとうまく共生・共存していくという意味の「withコロナ」という言葉が出てきました。私たちは何とwithすべきか？行方(生く方)はどこか？今一度問い直さなければなりません。(編集委員 J.K)

### 高山別院お煤払い奉仕のお願い

12月21日(月) 午後1時より  
別院本堂にて

※持参品 マスク・タオル・軍手 など  
ぜひともご奉仕をおねがいたします。

### 除夜の鐘と修正会

— お正月も飛騨御坊にお参りください —

#### 除夜の鐘

12月31日(木) 午後11時45分

※コロナ感染拡大につき、甘酒のふるまいはございません。

#### 修正会

1月1日(金) 午前0時 三島 多聞 輪番

1月2日(土) 午後1時 小原 正憲 氏

1月3日(日) 下記参照

#### 別院定例法座

午後1時から

12月28日(月) 親鸞聖人御命日法座

講題 「自分に気づく」

講師 石井 宗 氏

(西教寺住職)

1月3日(日) 修正会(兼 三日のご坊)

講題 「愚者になる」

講師 三島 大 氏

(真蓮寺住職)



家族で語ろう

人生の

「こんなこと」「あんなこと」

「人生に学ぶこと」

「被災樹木、被爆樹木に学ぶ」

原風景

昔、ボクが人生の迷子になって... 授業のレポートに、ボクの「なんで？」

「人生に学ぶこと」と書いて戻して... 「人生に学ぶこと」がボクの原点

為すすべもなく

ボクは少年時代、夢見る少年でした。それは希望ではなく、悲しい

寺に預けて出た母親を待ち続けているボクに、先生は「なみだ」

を教科書として、「人生に学ぶこと」と導き教えていただきました。

ボクと「悲しみ」

ボクは卒業して福祉の現場に「身」を置きましたが、自慢できることは少しもありません。

先人たちには、共通していることがありまます。それは、人生の半ばで重大な出来事に遭遇していること

被災樹木と被爆樹木

「遭遇した事は、わたしの人生から消すことができない」という、先人たちの異口同音の声がこ

ころに届きました。言い換えれば「そのことがなかった人生は、わたしではありませぬ」として聞かせてくれます。

このことを樹木たちから教えてもらったことがあります。この「被災樹木」や「被爆樹木」と命名された、空襲や原爆の劫火を生き抜いてきた樹木たちです。

「苦しみ」や「悲しさ」が結晶した「傷痕」を見ると、感慨深いものがあります。その傷痕は風雪から樹木を守ってきたとするなら、それは、樹木たちが体験した「悲しみ」と「なみだ」の結晶といえるかもしれません。



次回は尾角光美さんの「仏教×グリーンフケア①」です。

定例法座・法話(午後1時から) ○12月28日(月)...

○1月3日(日)...

○1月11日(月)...

○1月11日(月)...

ひだご坊 一口法話 URL: https://hidagobo.jp/sermon/ 1月1日~ 三島見らん氏 (西念寺) 1月16日~ 夏野了氏 (満成寺)

Instagram 「hida.gobo」の開設 高山別院を多くの方に知ってもらえるよう、Instagram「hida.gobo」を開設しました。

第38回 真宗公開講座(第3回) 2月22日(月)14時~<参加費500円> 講師 朝戸臣統氏 (本願寺派 飛騨組神通寺住職) 講題 「仏心とは大慈悲これなり」 会場 高山別院 本堂

テレビ番組 「ごほうチャンネル!」 第2回 放送予定 放送期日 1月4日~31日 毎日 放送時間 7時15分~7時30分 17時30分~17時45分 放送局 ケーブルテレビHi-net TV1 問合せ先(0800-2001-8688)

提灯製作 見積無料 雨に強い楽々提灯展示販売の店 あかりの蔵 株式会社 高山提灯 新型コロナウィルスの対策として誠に勝手ながら暫く不定期営業を行っております。

大谷婦人会 定例法座 三島多聞別院輪番 1月11日(月) 午後1時から

お仏壇 ほりお 仏壇工芸 仏壇工芸 ほりお 高山市三福寺町369-7 TEL0577-33-6686

雲上 山純先 やまのひかり 建築写真・測量用の撮影・PR映像 高山市桐生町71503 株式会社リブプロ

こすぎACT 高山市本町3-60 TEL 0577-32-1745 FAX 0577-35-1630

ブックス・アイオー 「聞法の生活」藤井慈等著 TEL0577-341-7668

総合建設業 カ 奥原建設株式会社 高山市総和町三丁目九〇 TEL0577-331-0761

スナック 卯木 うづぎ TEL506-0017 高山市朝日町13-3 TEL0577-36-0030

印刷物全般・自分史製作 山都印刷株式会社 高山市西之一色町二丁目九〇一八 TEL0577-331-1495

久寿玉 KUSUDAMA 送料無料 キャンペーン 実施中 (税込5,500円以上購入) 平瀬酒造店 TEL 34-0010

お墓の新設 リフォーム クリーニング 墓じまい 今年一年のご愛顧誠にありがとうございました。 ご相談・お見積り無料!! 墓石 石積み 建築石材 石工事各種 高山市新宮町2498-1 新宮小学校前 株式会社 奥田石材 OKUDA TEL0577-33-9601